

司書教諭に関する科目

授業科目名	右上表示
学校経営と学校図書館	司書教諭-1
学校図書館メディアの構成	司書教諭-2
学習指導と学校図書館	司書教諭-3
読書と豊かな人間性	司書教諭-4
情報メディアの活用	司書教諭-5

学校経営と学校図書館 (テキスト)

担当教員：河内 祥子

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2026年度

概要

「学校経営と学校図書館」は、司書教諭講習規定において最も基礎的な科目として位置づけられている。学校教育全般における学校図書館の位置づけはもとより、学校図書館法をはじめとする法制度的位置づけ、公共図書館をはじめとする学校外施設との連携等、対象とする範囲も極めて広い。

学校図書館に関わる基礎理論を押さえた上で、学校経営における学校図書館の位置づけについて、よりマクロ的視点から多角的に考察する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学D P1 大学D P2 大学D P3 大学D P4 大学D P5

到達目標

学校経営における学校図書館の位置づけを学校教育全般及び生涯学習等の隣接領域と関連させ多角的に考察する能力を養成する。

学習の進め方

テキストや「学習の手引」を読み学習を進めることは大前提であるが、そのみで終わらせることなく参考書やテキスト中にあげられている文献等の多くの関連文献を入手すること。これらを参考にすることで理解をより深めることが可能となる。レポート合格後は、科目修了試験に向けて、テキスト・参考書を再度学習する。

内容

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 学校における学校図書館の役割 | 9. 教育課程からみる学校図書館経営 |
| 2. 学校図書館を巡る教育改革の動向 | 10. 「生きる力」からみる学校図書館経営 |
| 3. 学校図書館発展の過程 | 11. 「心の教育」からみる学校図書館経営 |
| 4. 教育法制の中の学校図書館 | 12. 学校図書館における PDCA サイクル |
| 5. 学校図書館運営の運営体制とその中核を担う人 | 13. 教育行政と学校図書館 |
| 6. 学校図書館の運営に関わる人 | 14. チーム学校と表現の自由 |
| 7. 学校図書館と物的資源 (施設・設備) | 15. まとめ |
| 8. 学校図書館と物的資源 (メディアコレクション) | |

テキスト・参考書

①テキスト 学校図書館への招待 坂田仰 八千代出版 2020年、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 ①学校図書館基本資料集改訂版 全国学校図書館協議会監修 全国学校図書館協議会 2020年

②教職教養 日本国憲法 補訂版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011年

成績評価

①レポート 全体を100として、課題の理解30%、学生自身の学習成果50%、レポートとしての完成度20%として評価する。

②科目修了試験 第1問50点、第2問50点と配分し、合計点で評価するが、1問でも0点となった場合は不合格とすることがある。

その他

レポート課題集に掲載されている「レポート作成のための参考書」などでレポートの書き方について学んでから課題に取り組むことが望ましい。

学校図書館メディアの構成 (テキスト)

担当教員：後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2026年度

概要

今日、メディアの種類は多様化し、数量も急速に増え、利用の方法も複雑化している。そのため、学校教育におけるメディアの諸問題を扱う際には、状況を多面的にとらえ、知識と技術のすそ野を広げておく必要が生じている。

このような認識のもとに、当科目では、学校図書館活動の基盤となる「情報資源」の形成にかかわる知識と技術を学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①図書館メディア（図書館資料）に関する基礎知識を習得する。
- ②メディア選択と収集、ならびにコレクション形成の方法について学ぶ。
- ③分類法、目録法、件名法といった、メディアの組織化のための技術を学ぶ。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。課題1・2とも、テキスト全体を参考にすべきである。完成度を高めるために、各自の判断で参考書なども調べる。科目修了試験に向けても、テキスト全体をよく理解しておくこと。

内容

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 学校図書館メディアの意義 | 9. コレクション評価の手法 |
| 2. メディア構成の要点 | 10. メディアへの物理的アクセス支援 |
| 3. メディア構成の知識と技術 | 11. メディアへの知的アクセス支援 |
| 4. 学校図書館メディアの種類 | 12. 分類法を用いたメディアの組織化 |
| 5. 印刷・視聴覚メディアの選択と収集 | 13. 目録法を用いたメディアの組織化 |
| 6. 電子メディア利用の環境整備 | 14. 件名法を用いたメディアの組織化 |
| 7. コレクション形成の意義 | 15. 学校図書館メディアの構成における課題 |
| 8. コレクション形成の実際 | |

テキスト・参考書

①テキスト 学校図書館メディアの構成 小田光宏(編) 樹村房 2016

*上記のとおり2016年初版発行のものを指定しますのでご注意ください。

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 学校図書館メディアの構成改訂新版 北克一 他編著 放送大学教育振興会 2016

学校図書館メディアの構成 「探究学校図書館学」編集委員会編 全国学校図書館協議会 2020

学校図書館メディアの構成第2版 緑川信之編 学文社 2008

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参考にしてください。

成績評価

①レポート テキストの内容を理解できているか：70点満点

テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点

分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

②科目修了試験 論述式の試験である。

テキストの内容を理解しているか：90点満点

分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点

学習指導と学校図書館（テキスト）

担当教員：後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2026年度

概要

当科目は、「学習指導における学校図書館メディア活用についての理解を図る」ことをねらいとしている（文部科学省 “（別紙2）司書教諭の講習科目のねらいと内容” https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1327211.htm（参照 2025-11-26））。教育課程と学校図書館、発達段階に応じた学校図書館メディアの選択、児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成などについて、テキストをもとに学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①学習と図書館との関係の理論的側面について理解する。
- ②情報リテラシー教育について理解する。
- ③学校図書館を活用した授業実践と学習事例について理解する。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。課題1は第2章を中心にテキスト全体を、課題2はテキストの第5～8章を参考にするとよい。完成度を高めるために、各自の判断で参考書なども調べる。科目修了試験に向けては、テキスト全体をよく理解しておくこと。

内容

1. 学習と図書館
2. 『学習指導要領』にみる学校図書館
3. 探究的な学習の理論と図書館の情報資源
4. 学習指導における問題の設定
5. 情報リテラシーの内容と指導方法
6. 情報リテラシーと探究的な学習 (1) 探究的な学習における図書館の情報資源の利用など
7. 情報リテラシーと探究的な学習 (2) 問題の焦点化と件名標目の利用など
8. 情報リテラシーと探究的な学習 (3) 情報探索に関する学習階層と検索戦略の構築など
9. レファレンスサービスによる学習支援
10. 教職員のための学校図書館活用へのアプローチ
11. 小学校における学校図書館の活用 (1) 国語科における学校図書館活用など
12. 小学校における学校図書館の活用 (2) 総合的な学習の時間における学校図書館活用など
13. 中学校・高等学校における学校図書館の活用 (1) 学校図書館を活用した授業の目的など
14. 中学校・高等学校における学校図書館の活用 (2) レポート作成指導の事例など
15. 探究的な学習成果の評価と図書館の情報資源の活用

テキスト・参考書

- ①テキスト 学習指導と学校図書館 齋藤泰則(編) 樹村房 2016
*上記のとおり2016年初版発行のものを指定しますのでご注意ください。

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 学習指導と学校図書館改訂新版 堀川照代 他編著 放送大学教育振興会 2016
学習指導と学校図書館第3版 渡辺重夫 学文社 2013
学習指導と学校図書館 「探究学校図書館学」編集委員会編 全国学校図書館協議会 2020

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参考にしてください。

成績評価

- ①レポート テキストの内容を理解できているか：70点満点
テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点
分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

- ②科目修了試験 論述式の試験である。
テキストの内容を理解しているか：90点満点
分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点

読書と豊かな人間性 (テキスト)

担当教員：後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2026年度

概要

当科目は、「児童生徒の発達段階に応じた読書教育の理念と方法の理解を図る」ことをねらいとしている（文部科学省 “(別紙 2) 司書教諭の講習科目のねらいと内容” https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1327211.htm (参照 2025-11-26))。読書の意義と目的、読書と心の教育、発達段階に応じた読書の指導と計画などについて、テキストをもとに学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①読書の意義と目的、読書と心の教育、発達段階に応じた読書の指導と計画について理解する。
- ②児童・生徒向け図書の種類と活用、読書の指導方法（読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク等）、家庭、地域、公共図書館等との連携について理解する。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。レポート課題に明記した [ねらい] と [アドバイス] をよく読むこと。科目修了試験については、テキスト全体を「どこに何が書いてあるか、何も見なくても分かるレベルまで」読み込むこと。

内容

- | | |
|---|---|
| 1. 読書の意義と目的 | 9. 子どもと本を結ぶための方法 (2) 読書感想文、読書感想画等 |
| 2. 読書教育の系譜 | 10. 各教科等での読書指導、探究的な学習と読書指導 |
| 3. 読書指導と学校図書館 | 11. 読書活動の実際 (1) : 小学校、中学校 |
| 4. 子供の読書環境 | 12. 読書活動の実際 (2) : 高等学校、特別支援学校 |
| 5. 発達段階に応じた読書指導 | 13. 読書活動の推進と司書教諭・学校司書 |
| 6. 子どもの本の種類と提供 | 14. 個に応じた読書指導 (障害のある児童生徒や、外国にルーツのある児童生徒への読書指導等) |
| 7. 読書環境の意整備 | 15. 地域社会との連携 |
| 8. 子どもと本を結ぶための方法 (1) 読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリング | |

テキスト・参考書

①**テキスト** 読書と豊かな人間性 「探究学校図書館学」編集委員会（編著） 全国学校図書館協議会 2020年

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②**参考書** 読書と豊かな人間性 米谷茂則、岩崎れい（著） 放送大学教育振興会 2020年

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参照してください。

成績評価

- ①**レポート** テキストの内容を理解できているか：70点満点
テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点
分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

②**科目修了試験** 論述式の試験である。

- テキストの内容を理解しているか：90点満点
分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点

情報メディアの活用 (テキスト)

担当教員：後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2026年度

概要

当科目は、「学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る」ことをねらいとしている（文部科学省 “(別紙2) 司書教諭の講習科目のねらいと内容” https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1327211.htm (参照 2025-11-26))。

高度情報社会と人間、情報メディアの特性と選択、視聴覚メディアの活用などについて、テキストをもとに学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①各種の情報メディアについて理解する。
- ②学校図書館における情報メディアの活用、その際の留意点について理解する。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。課題1・2とも、テキスト全体を参考にすべきである。科目修了試験に向けても、テキスト全体をよく理解しておくこと。レポート課題、科目修了試験両方について言えるが、もし、テキスト1冊だけでは分かりづらい場合、各自の判断で参考書なども調べること。書店や図書館で入手できる。

内容

1. 情報化が進展する社会
2. 教育・学習理論と情報メディアの活用
3. 教育メディアの歴史 (1)
4. 教育メディアの歴史 (2)
5. 情報メディアの種類と特性 (1)
6. 情報メディアの種類と特性 (2)
7. 学校における ICT の活用
8. インターネット情報源と情報検索
9. 児童生徒の情報行動の実態と指導
10. 情報メディアの活用事例 (小学校)
11. 情報メディアの活用事例 (中学校)
12. 情報メディアの活用事例 (高等学校)
13. 特別な支援を要する児童生徒への情報メディアの活用事例
14. 情報メディアを取り巻く連携の事例
15. 情報メディアをめぐる課題と展望

テキスト・参考書

①テキスト 情報メディアの活用 「探究学校図書館学」編集委員会 (編著) 全国学校図書館協議会 2021年

テキスト一覧 (『履修の手引』に掲載) を必ず参照のこと。

②参考書 情報メディアの活用と展開改訂版 中山伸一 (編著) 青弓社 2009年

情報メディアの活用新訂版 高嶽 裕樹、田嶋 知宏 (編著) 放送大学教育振興会 2022年

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参照してください。

成績評価

①レポート テキストの内容を理解できているか：70点満点

テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点

分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

②科目修了試験 論述式の試験である。

テキストの内容を理解しているか：90点満点

分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点